土木積算システム『テクノス』 オプション工種 合算経費 三重県(基本) 操作説明書 (第2版)



1.合算経費 三重県(基本)の特徴

本オプションは、三重県の発注する工事(土木・土地改良・森林整備)において2工 事それぞれで経費対象額を計算し経費調整を行う(開示資料の総括情報表の経費調整区分 がパターン3と表示されているもの)方法『個別優先』と2工事を1つの工事として諸経 費を計算し、それぞれの工事に経費を配分する方法『全体優先』との2つの経費計算パタ ーンが選択できます。

また、3工事の合算には対応いたしておりませんので、あしからずご了承ください。

本説明書では、順計算による積算の方法と逆算により工事価格を求める方法を説明いたします。

2.工事情報の設定

合算工事の積算を始めるにあたり、テクノスの工事情報の設定方法を説明いたします。 通常の積算と同様に新規工事作成の画面で、初期値テンプレートにて発注を[三重県] 基準の欄で"(合算用)"と書かれたものを選択し年月に積算基準の適応年月を入力し、3 つの項目選択後に必ず"設定"ボタンを押してください。

工事情報	ALACARAN LINCOL / MARK
✓ OK ★ キャンセル	
ファイル名:	
略称 合算工事	→ モード ゜
工事番号	
工事名	ものを選択
-初期値テンプレート 発注 基準 年日を選択後「設定」ボタン	「「「「「「」」」を読みる経験(「表示リスト」」
発注 <u>基本</u>	年月
	(合算用) ▼ 2011年04月 2008(三重県)EXCEL取り込みツール対応 ▼
選択された結果 [三重県] 土木工事(合)	用) 2011年04月 設定取消
データベースの設定 鑑の情報 帳票表記	1 / 備考 諸経費情報 丸め設定 その他の設定
工事情報/設定	選択後必ず押してください
做要	
	- 開始年月日 工事終了年月日 作成(提出)年月日 本積算の最終編集日 2011年02月00日
1	
参照データベース	
諸経費 二重」国父省土木上争 合	算専用 2010年0 ↓ (諸経費0Bを切り替えただけでは、諸経費の丸めは変更されません)
上 単上性 ルベルリ 上 争上性	<u>·</u>

帳票番号テンプレートおよび基礎単価地区を選択後 "OK"をクリックしてください。

3.順計算(通常の積算)の方法

ここでは順計算(通常の積算)を行う方法を説明いたします。

前頁の"2.工事情報の設定"を行いますと通常積算と同様の内訳書の画面が表示されま すので、2工事が一つになった内訳書を作成していただきます。(下図参照)

		オンラインサポート	工事内を検索	単独画面			工事を閉じる	- X 73
ţ	ト合	算]→[本工事費]→[処理場・オ	ポンプ場2]→[場内	付帯工]→[取壊]	:71			
	一覧	2 基礎単価 2 積算基準	🗊 工種名 🔃	階層表示 🔲 テ.	スト 合算[通常]			
L種	〔名→】	12 工種名作成 明細表	作成 単価表価	作成 積算基準	一覧 基礎単価作成	;│基礎単価一覧	上書参照	(変更) 上書参照(
	計算	諸経費条件設定	経費のリセット	逆笡	逆質のリセット	工事価格他一覧	-	1層_
						, <u> </u>	•	11
No.		名称/規格	単位	数量	単価	金額	番号	摘要/出典
		本工事費						
In	8			1	9,865,802	9,865,802		
2n		処理場・ポンプ場1						
			<u></u> 方	1	7,122,465	7,122,465		
3n	9	施設這成工			740.000	740.000		
		成十丁	I N		740,000	740,000		
4n			1 5		639,960	639,960		
-		施設土工						
on			フェ	1	100,920	100,920	70	の1丁事
6n		擁壁工						∕ I ⊥.∓
			<u></u> 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	1	6,362,165	6,362,165		
7n	9	洲壁上			an rac a	331 6363		
		取塊工	I\		0,302,100	0,802,100		-
8n			元 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二		19,420	19,420		
0		取壞工						
9n			五	1	19,420	19,420		
10n		処理場・ポンプ場2					·	
		退去付サテ	万 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	2,743,337	2,743,337		
1 1n		吻心的常士		1	2742327	2743 327		
		門塀工			2,140,001	2,140,007		
12n				1	362,073	362,073	7 20	り2上爭
20		取壞工						
Ion			式	1	750,480	750,480		
14n		フェンスエ						
			江	1	1,630,784	1,630,784	/	

全ての明細書の作成が終わりましたら"諸経費条件設定"をクリックし諸経費の条件 を設定してください。 3-1.諸経費条件の設定

▶ [三重] 国交省土木工事 合算専用 2011年07月		x
国交省土木工事(合算専用) 工種 道路改良工事	諸経費 計算種別1 ・ 2工事合算 ・ 対象工事1のみ 最低工事価格 算出方法 ・ 2工事の合計額を基に算出 ・ 工事別に算出後,合計	
加丁地域 地方部-交通の影響を受けない	○ 対象工事2のみ 【最低工事価格算出時の係数】 「最低工事価格=直接工事量×K1+共通仮設豊種上げ分×K +事業損失防止施設費×K3+共通仮設豊率分×K4+(√->)	2
	アウ7経費率分×K4b+現場管理費×K5+一般管理費×K6 全直接工事費中処分費等(*1) *I内固定側工事の処分費等]
前払金支出割合 35%を超え40%以ト ▲ 契約(保証の方法 金銭的(保証 ▲)	準備費に含まれる処分費(*2) 計算方法の指定	
直接工事費・処分費 金額固定側工事 ○ 工事1 ○ 工事 直接工事費 固定側の金額 円	支結品費等 イメージアクフ 経費率分係数(K4b) 0.90 <u>おなせんの日期(</u> 1条工事1) 円 現場管理費(係数(K5) 0.80	
(メージアップ)字分 非計上 ▼	経費条件 1象工事1) <u> 東府電グ174年</u> (水) (K6) の30 円 注意:事業損失防止施設費は共通仮設費種上げ分の一部、	
		ŧ
対象工事1 旧契約(保証金額) 円 対象工事2 旧契約(保証金額) 円	支給電力料金(対象工事2) 円 最低工事価格丸め 端数処理 © 切捨て ○ 四捨五入 ○ 切上げ	f
	無償貸付機械評価額(対象工事2) 円 最低工事価格(工事予定価格の)上限率 90 % 最低工事価格(工事予定価格の)上限率 70 % 最低工事価格(工事予定価格の)下限率 70 %	6 6
準備費に含まれる処分費を、 共通仮設費の率計算対象額に ・計上する い計上しない		
大都市の特性を考慮した間接工事費の補正 (* なし) C あ 大都市の特性を考慮した共通仮設費補正係数 1.5 (4)]
大都市の特性を考慮した現場管理費補正係数 12 (1	1家工学と 57.778 生夏キャ1歳200%(朝) 「「 キョ1度80家 キャレ49」(*日期195 (*日期195 (*日)195 (*H)195	06

3-1-1.経費条件

経費条件については、通常工事と変わりありません。 工種、施工地域、前払金支出割合、契約保証の方法などを設定してください。 ※ここで使用する合算工事では2つの工事における経費条件は共通となります。

3-1-2.計算方法の指定

この経費計算では、2つの工事を1つの工事として経費計算を行い、その結果算 出された経費をそれぞれの工事の対象額に配分する『全体優先』と、それぞれの個々 の工事の経費対象額を算出し、その対象額を元に経費を計算する『個別優先』の計 算方法が選択できます。(個別優先の計算方法につきましては、巻末に解説しており ますので、こちらを参考にしてください。)



3-1-3.各工事における直接工事費および処分費

この経費計算では、工事1・工事2毎に経費対象額を求める必要がある為、<u>それぞ</u> れの工事についての直接工事費・処分費他の経費対象額に関わる金額を設定しなけれ ばなりません。

内訳書の積み上げにて算出した金額は両方の工事の合計金額ですので、ここで一方 の工事の直接工事費や処分費をテクノスに教えてあげる必要があります。

※合計と一方の工事の金額が分かれば、他方は引き算で計算できます。

また、桁・門扉・支給品やスクラップなどテクノス上では自動集計されませんが、 経費対象金額に関わる金額がある時はその都度手入力してください。

入力方法

後に記述いたしますが逆算で工事価格を求める都合上、どちらかの工事の対象金 額を決めなければならない為、上図の固定工事の指定の項目で工事1か工事2を選 択してください。

固定工事の選択が終わりましたら、次に固定工事側の直接工事費を入力してくだ さい。

※2 つの工事の合計ではなく、あくまでも選択した一方の工事の直接工事費を入力 してください。 直接工事と同様に処分費も、**固定工事側の処分費**を入力してください。 桁・門扉・スクラップ等工事別にそれぞれの該当箇所に入力してください。 入力が終わりましたら"設定"ボタンをクリックしてください。

下図のように諸経費が計算されます。

▶ 積算	システ	・ム『テクノスV2』:[テ	スト 合算]-[内	歌表[テン	スト 合算]]					x I
▶ 表示	⊼(<u>V</u>)	システムの設定(<u>0</u>)	ウィンドウ(<u>W</u>)	ヘレプ(日)) 【追加モ	ード】(<u>Z</u>) 【テ	クノス終	{了(<u>T</u>)】			- R X
		オンラインサポー	 ト 工事内を相 	食索	単独画の	5	呆存	ב	事を閉じる	🔜 🔣 テク	ノス終了
[テス	ŀ {	[]→[本工事費]→[処	理場・ポンプ場2]	→[場内付	帯工]→[門:	塀工 /]					
日工事	一覧	2 基礎単価 2 積	算基準 📘 🗾 工種:	名 🔚 🛯	帽表示 📔	テスト 合算[〕	(常)				
T#	i名一'	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	明細表作成	単価表作	成 積質表	長進→暫 │ 基礎!	単価作成	│基礎単価→腎	1	「変更) ト書参照	(不変)
				- 100 PCT 1	·····································		z.a. k. 1				
	回身 (曲/~					「大豆の少し	是任了	工争1回1810一。	. 111111111111111111111111111111111111	× 108 1 . V	
	*Ħ/드		初始日生貢	- 8X E	5-21月寺	工事」而18	REISAL				
	9,86	5,802 1,154,000	2,984,00	0	1,805,198	15,809,000		13,030,000			
No.		名称/規格	3 1	単位	数量	単価		金額	番号	摘要 / 出典	*
14n		フェンスエ									
						1 1,63	0,784	1,630,784			
15	1	直接工事費(合計) 						0.005.000			
	1	古坡工本书/社会工本1	71			1 9,86	5,802	9,865,802			
16		[[[]按上爭貫(>)]新工爭[1 712	2 4 6 5	7 122 465			-
	5		>				2,100	1,122,100	-		
17	1			01000	28000800080	1 2,74	3,337	2,743,337	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	9700200200020	
10		共通仮設費									
10			方			1 1,15	4,000	1,154,000			
19		運搬費									
	~	合計	<u></u> 方			1	0	0			
20	9	連搬費	·····	1122219							
	0	川家工争!	11					U	-		
21	-		一 元	01530001010			- 1	0		84002402240	
		準備費				A as		-			
22		合計	 无			1	0	0	**********		
- 10		準備費									
20		対象工事1	 无			1	0	0			
24		準備費									
	-	対象工事2	<u></u> 大			1	0	0			
25		●美預天防止施設費 =⊥								01003002000028	
	1		世					U			
26	-					1		0			
17991	0	事業損失防止施設	費 17			64 /2 63					
27		対象工事2				1	0	0			
10		安全費									
28		승 計				1	0	0			
29		安全費									-
追加	-	変更あり				-		.1			//

3-1-4.共通仮設費(積上分)の入力方法

積上分の共通仮設費の入力方法は通常積算時と同様で、入力したい項目をクリ ックしたのち、"積算基準一覧"・"基礎単価作成"などのボタンをクリックした 後、適切な単価を入力してください。

ただし、当該諸経費計算は合算工事でありますので、それぞれの共通仮設費に つきましても対象工事1と対象工事2に分かれていますので、それぞれの工事の 共通仮設費に入力するようにお願いいたします。

また、準備費の中に処分費がある場合は、処分費のフラグ設定を行った後、再び"諸経費条件設定"をクリックし諸経費条件画面内の準備費に含まれる処分費の金額入力を行ってください。

以上で順計算による積算は終了です。

工事価格が合わない場合などは、後述「4.逆算の方法」にて、それぞれの直接 工事価格を調整してください。 3-1-5.その他の設定

ここでは、最低工事価格の算出方法とそれぞれの工事別の共通仮設費以下の印刷方法を説明いたします。



最低工事の計算方法は、次に挙げる 2 種類の方法が類推されますが、三重県 がどちらを使用しているかは判明しておりません。

類推される方法は2つの工事の合計を元にそれぞれの係数を掛け最低工事価格を算出する方法と、それぞれの工事に対して最低工事価格を求めそれぞれの 最低価格どうしを足して合計の最低工事価格を求める方法があります。

設定画面の右上にて設定方法が変更できますので、これにて最低工事価格を 類推してください。

算出方法が判明いたしましたらメニューに"(通常)"と入れさせていただきます。

また、それぞれの工事で、工事別の経費を印刷したい場合はメニュー中央上 の諸経費 計算種別の項目で印刷したい工事を選択してください。

※この設定は印刷時のみお使いください。共通仮設費で別の工事を"0式"とし て印刷しておりますので、準備費中に処分費がある場合などに集計機能が狂い 経費計算がおかしくなる場合があります。

印刷が終わりましたら、経費設定画面を開き設定を <u>2工事合算</u>に戻してから"設 定"を<u>2回</u>行ってください。

以下のように印刷されますので、直接工事費以下の部分をご使用ください。

	設	計内訳	表		1	
費目 工種 種別 細別	単位	教量	単価	金額	摘要	
フェンスエ						
	式	-	1 000 704	1 000 704		
	4	1	1,030,784	1,630,784		
直接工事費(合計)	-4-					
100	FL	1	9,865,802	9,865,802		
直接工事費(対象工事1)						
	8					
	-	1	7,122,465	7,122,465		
共通仮設費						ての如八さ
	式	1	819.000	819.000	ー ニームり	下の部方を
11.12.12.12.12.14.14.14.14.14.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.15.		-	0101000	010,000	「毎日く	ださい
共通仮設質(半計算分) 対象工事1	去				6096333×1 二区/11 1	
	-	1	819,000	819,000		
共通仮設費(率計算分)						
	式					
	10 - 1	1	819,000	819,000		
純工事費 対象工事1	-10-					
	A	1	7,941,465	7,941,465		
現場管理會	-				7515333×28.17%	
対象工事1	式					
		1	2,117,000	2,117,000		
現場管理費						
	式	1	2,117.000	2.117.000		
丁真百乐	- 23	-				
対象工事1	式					
		1	10,058,465	10,058,465		
一般管理費等	396-52				9632333×13.26% + 96	
刘承工寺1	式	1	1 280 535	1 280 535	32333 × 0.04%	
AU. 55: 191 (m. 55)	-	Ċ.	1,200,000	1,200,000		
一款管理實守	志					
	-	1	1,280,535	1,280,535		
工事価格						
对家工事!	式		11 000 000	11 200 000		
mer min Fari Mr.		1	11,339,000	11,339,000		
工事価格	-#-					
	R	1	11,339,000	11,339,000		
消費税及び地方消費税相当額	+	1			5.00%	
Contraction of the second s	式					
		1	566,950	566,950		
本工事費計						
	式		11 905 950	11 005 050		
		-	1,000,000	41,000,000		

4.逆算の方法

ここでは、本機能を用いて工事価格(合計・工事1・工事2)を類推する方法を説明いた します。

できるだけ正確に工事価格を求めるには以下の条件が必要です

・諸経費の条件が全て判明している。

・両方の工事の処分費、共通仮設費の積上げ分、諸経費対象額の加減額

・一方の工事の直接工事費

1ページの"2.工事情報の設定"に基づいて工事を作成してください。

工種	名一	覧 工種名作成 明細表作	成 単価表作	作成 積算基準一	覧 基礎単価作成	、基礎単価一覧	上書参照	(変更)上書参照(2
	計算	│諸経費条件設定 ││諸経	費のリセット	逆算	逆算のリセット	工事価格他一覧	- 1層上	- 1層下へ
.	T	名称/規格	単位	数量	単価	金額	番号	摘要/出典
INO.	1			21	12	8		5 B
Ino.	0	本工事費						
In		本工事費	方	1	12,250,000	12,250,000		
In	() () () () () () () () () () () () () (本工事費 	万	1	12,250,000	12,250,000		
1n 2n		本工事費 直接工事費 合計	た 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	1	12,250,000	12,250,000		
1n 2n))))	本工事費 直接工事費 合計 処分費 合計	方 万 万	1	12,250,000	12,250,000		

内訳書の画面が表示されましたら、"基礎単価作成"ボタンにて上図のように"直接工事 費 合計"の行と"処分費 合計"の行を作成してください。(通常のように積算していた だいてもかまいません)

この時の単価ですが、"直接工事費 合計"の金額には、固定する工事の直接工事費+α の金額を入力してください。(固定する工事とは、2 つの内金額が分かっている工事もしく は不確定要素が少なく金額の予想がしやすい工事のことです)

また"処分費 合計"の金額は工事1と工事2の処分費の合計金額を入力し、処分費の フラグを設定してください。

入力が終わりましたら、"諸経費条件設定"ボタンをクリックし、"3-1.諸経費条件の設 定"にしたがい諸経費の条件を設定しその後、各積上げ共通仮設費を入力してください。

🔁 [三重] 国交省土木工事 合算專用 2011年07月		
国交省土木工事(合算専用)	経費 計算種別1 (6.2丁本合質)	最低工事価格 賀出方法 C 2工事の会計類を基に貸出
工種 道路改良工事	対象工事1のみ	 ・ 工事別に算出後,合計
施工地域 地方部-交通の影響を受けない ▼	対象工事2のみ	【最低工事価格算出時の係数】
冬禾油正变(2011下) %4	経費計算 個別優先 C 全体優先	[歳低工争価格= 旦接工争章×K1+共通版設章積上17分×K2 +事業損失防止施設費×K3+共通仮設費率分×K4+イメージ
	心ず9丁重 今 倍	7ッ7 経費率分×K4b+現場管理費×K5+一般管理費×K6]
	必92上 尹 口异	直接上事費係数(K1) 0.95
前払金支出割合 35%を超え40%以下 ▼	を選択してください。	共通恢設賞積上げ分1条数(K2) 0.90
契約保証の方法 金銭的保証 👤	*2内 固定側工事の処分費等 円	争果損失防止施設費(系数)(K3) 0.30 共通仮設書本(人)(また(K1) 0.00
直接工事費·処分費 金額固定側工事 〇 工事1 ④ 工事2	支給品費等	大連(Xix) 〒千万(米鉄)(N4) 0.30
直接工事要 固定側の余類 円	桁等支給品費(対象工事1) 円	1 月拾 理書(系数(KB) 0.80
	一般支給品費(対象工事1) 円	一般管理者(系数(K6) 0.30
「メーシアッフ'率分 非計上 ▼	支給電力料金(対象工事1) 円	注意:事業損失防止施設費は共通仮設費積上げ分の一部、
	桁等支給品費(対象工事2) 円	イメーシアップ経費率分は共通仮設費率分の一部ですが、 最低工事価格管理時の低数は異なることがあります。
	一般支給品費(対象工事2) 円	
	支給電力料金(対象工事2) 円	策低工爭価格丸約 1111立直 ○ 万円未満 ○ 千円未満
対象工事1 旧契約保証金額 円		最低工事価格丸め 端数処理 🙃 切捨て 🔿 四捨五入 🔿 切上げ
対象工事2 旧契約保証金額 円 一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	【見目り1歳(Wiii+1回線(M)家工争り □ (常学(計測減)率価額(対象工事2) □ □	最低工事価格(工事予定価格の)上限率 90 %
砂防・地すべり等工事 砂防堰堤高 © 20m未満		最低工事価格(工事予定価格の)下限率 70 %
(20m以上) 進備書に含まれる処分費を	対象工事1 共通仮設費率対象加減額	円
共通仮設費の率計算対象額に	対象工事1 現場管理費率対象加減額	円 ····································
大都市の特性を考慮した間接工事費の補正 ④ なし 〇 あし	对象工事1 一般管理費半对象加減額	
	対象工事2 共通仮設費率対象加減額	
八都市の特性を考慮した共通収設費補止1条数 1.5 (標準1.5)	対象工事2 現場管理費率対象加減額	円 率計算結果 率印刷 (* 印刷する (* 印刷しない)
大都市の特性を考慮した現場管理費補正係数 12(標準1.2)	対象工事2 一般管理費率対象加減額	円 設定 キャンセル 2011/07/15

入力が終わりましたら"逆算"をクリックしてください。

▶ 表示	⊼(⊻)	シス	テムの設定(0)	ウィンドウ(<u>₩</u>		プ(日) 【追加モ・	-ド】(<u>Z</u>) 【テ	クノス終了(<u>T</u>)】			- 8 ×
			オンラインサポー	- ト 「 工事I	内を検索	単独画	6	呆存 📃	工事を閉じる	<u> </u>	リス終了
[合算	の運算	[]→[‡	共通仮設費]→[運	般費]→[運搬	費 / 対象	Q工事1]					
日本	一覧		基礎単価 丨 🗩 積)	章基準 🛛 🔽	工種名 ┃[🗄 階層表示 📔	合算の逆算[通常	1			
 	[名一]	覧	工種名作成	明細表作成	単価	表作成 植算基	進一覧 基礎単	单価作成 │ 基礎単価-	→覧 <u>上</u> 書参照	ฏ(変更) 上書参照	(不変)
	計算	1	諸経費条件設定	1 諸経費の	リセット		逆算のリセ	ット	一覧 1層_	Lへ 1層下へ	
直接工事	事費(合	計)	共通仮設費	現場管理語	費 一	般管理費等	工事価格	最低工事価格			
	12,25	0,000	1,453,000	3,79	99,000	2,269,000	19,771,000	16,280,000			
No.			名称/規格	ł	単位	数量	単価	金額	番号	摘要 / 出典	^
	03	本工事費									
1n		1+1-1-1	产 具 								
1n	8	/+~	рщ 		汔		1 12,250	12,250,0	00		



"逆算"をクリックしますと上図のような画面が表示されますので、一番下の"試算" を選択し"次へ"をクリックしてください。

隆 逆算	X
工事価格と諸経費条件を固定	して 直接工事費(合計) を試
直接工事費の試算シミュレーションを行いま	द वे
○目標工事価格	65,500,000
○ 目標工事価格(税込み)	68,460,000 消費税 5 %
○現 2つの工事の合計(税抜	き) (%掛けの金額)
試算の回数	40
目標値からの許容誤差(円)	0.01
▼ 試算範囲(±円)	10000
範囲計算時の変化量(円)	200
※試算の結果で出た直接工 前後指定金額の間で試算	事費を基準に、 を行います。
実行	× キャンセル

目標工事価格に2つの工事の合計工事価格(税抜き)を入力して"実行"をクリックしてください。

「重の網				017 - 647	r 1
定正	事価格に一致する行は、	薄春地に赤色の字	≂で表示されます。		
时(行) 直接]	の結果が試算調整行に、 「事費(合計)」は、その会	反映されます。 金額丸め設定によっ	て、同じ数値が連続	する場合があ	らります。
					次へ
No.	直接工事費(合計)	工事価格	最低工事価格	結果	
46	41,941,500	65,498,000	54,480,000		1
47	41,941,700	65,498,000	54,480,000		
48	41,941,900	65,500,000	54,480,000	0	
49	41,942,100	65,500,000	54,480,000	0	
50	41,942,300	65,500,000	54,480,000	0	
51	41,942,500	65,500,000	54,480,000	0	
52	41,942,700	65,501,000	54,480,000		
			2		

計算結果が表示されますので決定したい金額の行を選択し"閉じる"をクリックしてください。

20		直接工事費 合計	nanan ar an	ARTER CONTRACTOR			
211			方	1	12,000,000	12,000,000	
0		処分費 合計					· · · ·
ori	P		た	1	250,000	250,000	
de.		試算用調整金額					
411				1.0	29,691,900	^{29,69} 田空した工	the second secon
5	5	直接工事費(合計)				回足した上	₱
° .			元	1	41,941,900	41,941,900	
6	5	直接工事費(対象工事1)				Y	
U				1	9,856,200	9,856,200	
7	5	直接工事費(対象工事2)					
10-				1	32,085,700	32,085,700	
0		共通仮設費					
0			た	1	4,449,000	4,449,0 、	
			I			世昇によ	り氷め
						た丁重	
						/こ上手	

上図のように表示され最初に固定した工事と逆算により求めた工事の結果が表示されます。

逆算の結果、逆算により求めた工事が予想に反して高かった(安かった)場合、諸経費 設定画面にて、固定する工事の直接工事費を変更し、繰り返し逆算を行ってみてください。 5.合算経費『個別優先』の計算方法

ここでは、三重県で使用する合算による経費調整(パターン3)での経費計算の方法を 解説いたします。

まず、それぞれの工事にて諸経費の対象額を求めます。ここで最も影響のあるのが処 分費の直接工事費にしめる割合です。(森林整備は除く)

通常、直接工事費の3%を超える場合(厳密に言うと少し違うのですが)は超えた金額 が対象額から減額されその分各経費が安くなります。

この経費調整の考え方では、合計の工事の直接工事費にしめる割合いではなく、それ ぞれの工事の直接工事費にしめる割合が3%を超える場合経費に影響がでます。

すなわち、合計の直接工事費が 1,000 万円(その1工事 500 万円、その2工事 500 万円) としその2工事にだけ処分費が 20 万円ある工事と仮定しますと、合計での直接工事 費の 3%というと 1,000 万円×0.03=30 万円ですから処分費の合計 20 万円では通常、 経費の対象額には影響はありません。

しかし、その2工事で見ますと、500万円×0.03=15万円で処分費20万円では5万円 控除されます。したがって合算工事費での経費対象額は500万円+(500万円-5万円) =995万円となり、合計金額で計算した対象金額1,000万円と異なった結果となります。

また、経費率は合計金額の対象額を元に算出し、その割合をそれぞれの工事の経費対 象額に掛けて算出します。

この時、端数処理の関係で合計金額で算出した金額と 1,000 円程度の差が生じること がありますので、合計金額で逆算を行った場合、集束しない場合が出現します。

具体的な例をあげますと、合計の対象額が 12,345,000 円、工事 1 の対象額が 2,234,500 円、工事 2 の対象金額が 10,110,500 円、経費率 20%とした場合、合計金額で経費を計算 すると、12,345,000 円×0.20=2,469,000 円となりますが、合算経費で計算した場合、工 事 1 の経費は 2,234,500 円×0.20=446,900 円となり、千円以下切り捨てなので 446,000 円となります。

他方、工事2の経費は10,110,500円×0.20=2,022,100円となり千円以下切り捨てなので、2,022,000円となり、経費の合計金額は446,000円+2,022,000円=2,468,000円となり、合計金額で算出しました2,469,000円より1,000円安くなります。

このようにして、各経費が計算されるため、合計金額が同じでもそれぞれの工事の金額の比率や処分費の金額により、工事価格の結果が変わります。